



TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

首都大学東京

# 今、大学教員に求められている資質

■ ガイダンス:

## 「大学教育のためのPDCAサイクルを回そう」

担当: 大学教育センター・FD委員会  
舛本 直文

[naomasumoto@tmu.ac.jp](mailto:naomasumoto@tmu.ac.jp)





TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

首都大学東京

Q1:「PDCAサイクル」とは？

Q2:GPAとは？

Q3:1単位は何時間の学修を必要とする内容でしょうか？

Q4:授業時間外学修とは？

Q5:CAP制とは？

Q6:FDとは？

 回答欄:





# 大学教育の質保証：求められるわけ

- ユニバーサル化した大学：誰でも入れる大学→高校化？
- 国際化時代＝グローバルスタンダードへの対応：日本式大学授業への反省、単位互換、留学など
- 教育情報の公開＝社会的責任（アカウンタビリティ）→法制化：ごまかす大学？
- 「よりよい授業」を求めて：学習成果の保証
- 勉強しない学生たち ↔ 勉強させない教員たち（互いに楽をする馴れ合いからの脱却）





# FD・SD: 絶えざる営み

(すべての営みには計画・立案-実践-評価  
PDCAサイクル: Plan-Do-Check-Action)

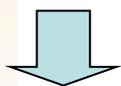
- **PLAN**: 首都大のミッションと学部・学科の教育目標の確認  
シラバス作成、教材開発、評価方法・基準の確認



- **DO** : 授業方法(発問、討論、発表)の共有、教育機器、  
授業時間外学習課題、成績評価、オフィス・アワー等



- **CHECK**: SE・TE、試験、ピアレビュー、自己点検・評価、  
web授業公開、授業ノート作成、ポートフォリオ



- **Action (FB・RE-PLAN)**: システム化: 学生支援・教員支援・  
職員支援、インセンティブの活用、結果のweb化・印刷や出版  
(『クロスロード』やリーフレットの充実等)





# PLAN: 10月頃: 授業設計(計画・立案)

## ■ 授業設計(目標・方法・評価)

- ・ 目標・テーマ: 身につけさせたい能力(成果)
- ・ 15回の講義内容構成 + 授業時間外学修
- ・ テキスト選定、参考書リスト
- ・ 授業方法(GW、プレゼン、講義等)
- ・ 評価(項目、方法、配分などの基準)





# PLAN:11月頃:シラバスの作成

## ■ シラバス作成の目的

- ・授業選択情報
- ・学修計画の指針
- ・学生と教員の一種の契約書的确認  
レポートや評価など
- ・学術情報
- ・授業ルールなど事務的情報





# PLAN 11月頃:シラバスの作成 (手引pp.26-29)

## ■シラバスの記載内容(ポイント)

- ・授業方針・テーマ(教師目線からの概要)
- ・到達目標(学生目線から獲得できる学習成果)
- ・授業計画・内容(15回分)
- ・テキスト・参考書(入手できる基本文献)
- ・成績評価方法(学習成果が計れる項目)  
評価項目・評価配分
- ・特記事項(受講資格、オフィスアワー、連絡)





TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

首都大学東京

# 参考：シラバスとコースカタログ

## ■ コースカタログ：全授業の概要

授業選択のために簡潔にまとめた情報  
字数制限などのフォーマット

## ■ シラバス：初回授業に受講者に配布 受講者の学習支援情報 自由な記述、字数制限なし



<夏目達也他(2010)大学教員準備講座. 玉川大学出版部. P.28  
>



TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

首都大学東京

# DO:4月～授業の実施(教授法)

## ■ オリエンテーション

- ・大学の学びへの誘い
- ・都市プロ「45x2」講義
- ・レディネスの把握
- ・詳細版シラバス配布
- ・Webの活用？／毎回のPPT？

## ■ 教育手帳：履修申請確認

- ・Webダウンロード可能、手作り？





# DO:5月～ルーティンワーク

- 毎回の授業の準備
- PPT、配付資料、web公開
- ミニツツペーパー(毎時ミニレポート)
- 出席管理
- 授業時間外学習課題の採点等
  - ◎以上:TAの活用?
- 授業ノートの作成(ポイント、反省等)
- 形成的評価を取り入れるか?
- 中間試験?(FBLし形成的評価)
- ティーチング・ポートフォリオ(TPF)





# DO:7月～成績評価(評価計画)

- 評価方針: 形成的評価／総括的評価
- 評価方式: 絶対的評価／相対的評価
- 評価方法: レポート・中間試験・期末試験・口述・プレゼン・GW・製作・実演
- 評価項目(対象): 出席、ミニレポ、発言、課題、テスト(理解、論理、問題発見、独自性等)
- 評価配分: %配分、ウェイト
- 評価結果のFB: 返却のオフィスアワー?

★シラバスに要掲載

◎参考: TMU成績評価「申し合わせ」等

・基礎ゼミ「ガイドライン」・情リテ「指針」・都市プロ「申し合わせ」・未修言語「基準」・保体科目「基準」・副専攻「基準」・実践英語? 理工系共通?





# DO:7月～成績評価

- 中間テスト:理解・進捗確認とFB
- 形成的評価:ミニレポ・ノート(LPF)・出席
- レポート:客観的評価、評価する能力
- 期末試験:論述、選択マーク、口述、プレゼン、作品、ポスターetc

☆シラバスの学習成果との対応

☆評点の偏り(課題の偏向?)

- 成績情報の管理(TMU:最低1年間)
- 採点結果の報告(web入力)
- 評価分布とGPA
- FBと学生のクレームへの対応





TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

首都大学東京

# CHECK:7月～様々な評価

- 学生の授業評価アンケート(SE)
- 教員自身の授業評価アンケート(TE)
- 9月末:SE・TEの集計結果返却
- 自分の授業ノート
- 中間・期末試験
- レポート
- TAによる反省評価
- 同僚評価
- FDLレポート・リーフレット活用
- 自己評価:TPF化



# ACTION: 8, 9月～ 授業の再構築 授業方法・評価の研修、情報収集



TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

首都大学東京

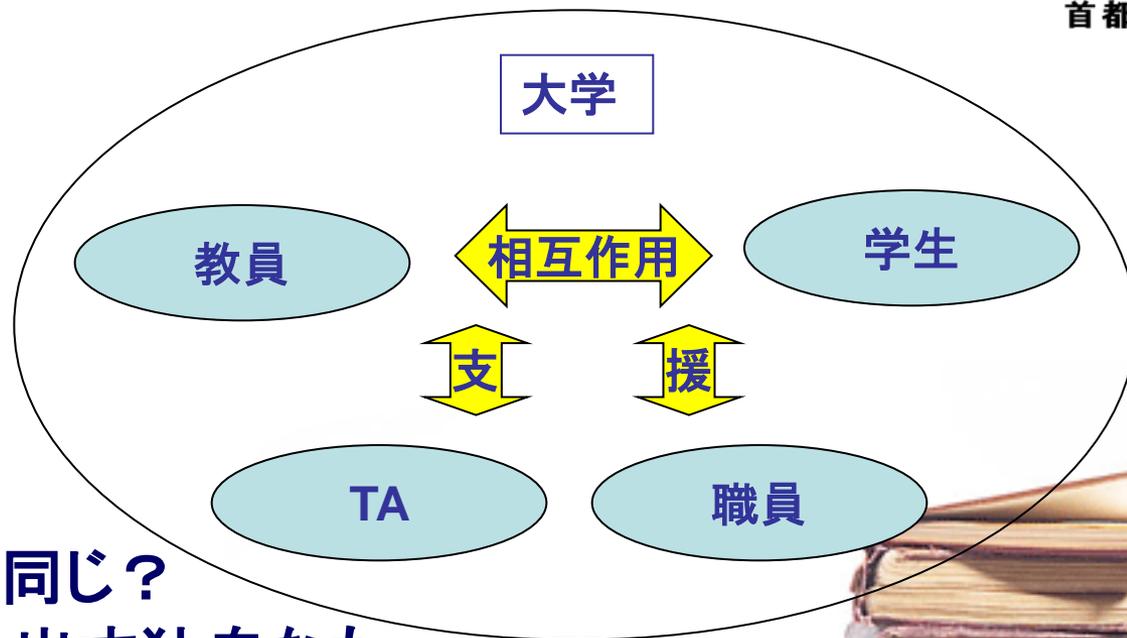
- 授業の再設計情報の確認
  - ・様々な評価、テスト・レポート
  - ・Check情報の活用
- 様々な研修参加（FDセミナー等）
- 日常的な同僚とのFD
- 他大学・機関の情報（出版も）
- WEBの活用
- 自己の研究の最新情報の導入





# 授業は一体誰のものでしょうか？

- 教員？
- 学生？
- 大学？
- 社会？



- 学生と教員
- 他教員でも同じ？
- 両方で生み出す独自のもの
- 大学の成果・財産（普遍）
- 社会の公共物（時代のニーズ）

社会





# 授業改善のための参考文献等

- 夏目達也他(2010)大学教員準備講座. 玉川大学出版
- 成長するチップス先生. 名古屋大学website  
<http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/tips/>
- 中井俊樹(編)(2008)英語で授業シリーズ(1) 大学教員のための教室英語表現300. アルク
- 『まんがFDハンドブック おしえて! FDマン』
- 京都FD開発推進センター [http://www.kyoto-fd.jp/handbook/digital\\_book/index.html](http://www.kyoto-fd.jp/handbook/digital_book/index.html)
- TMU FD委員会website:  
<http://www.comp.tmu.ac.jp/FD/>

